

8. 指数関数とその導関数

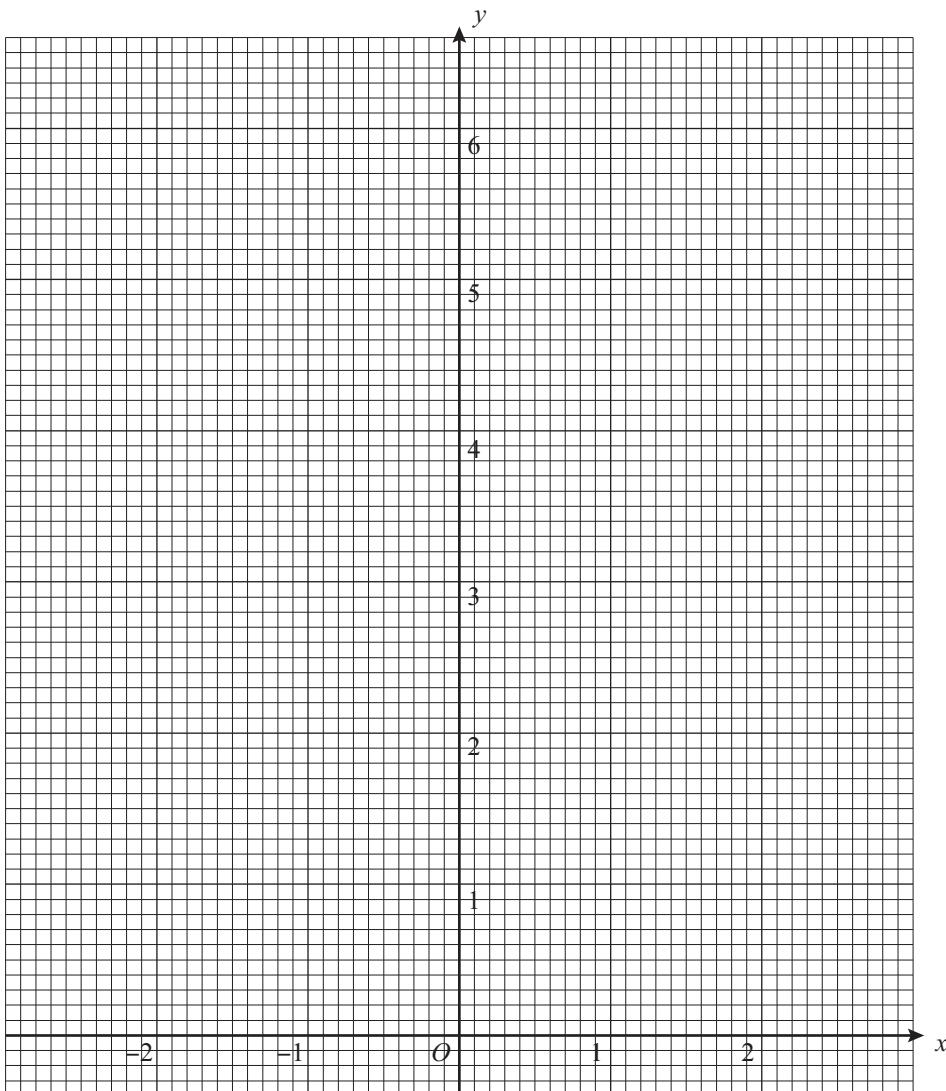
2014年度後期 微分積分I(火2限)

- 1 関数  $y = 2^x$  および  $y = 3^x$  について次の表にあてはまる  $y$  の値を小数で表せ。ただし、 $2^{0.5} = 1.414$ ,  $3^{0.5} = 1.732$  とする。ヒント： $2^{-0.5} = 2^{0.5} \times 2^{-1} = 1.414 \div 2 = 0.707$  であることなどに注意せよ。

$x$	-3	-2.5	-2	-1.5	-1	-0.5	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3
$2^x$													

$x$	-3	-2.5	-2	-1.5	-1	-0.5	0	0.5	1	1.5	2	2.5	3
$3^x$													

- 2 前問を利用して、指数関数  $y = 2^x$  と  $y = 3^x$  のグラフを描け。また、それぞれのグラフの  $(0, 1)$  における接線をなるべく正確に引き、その傾きを推定せよ。



学籍番号 : \_\_\_\_\_ 氏名 : \_\_\_\_\_

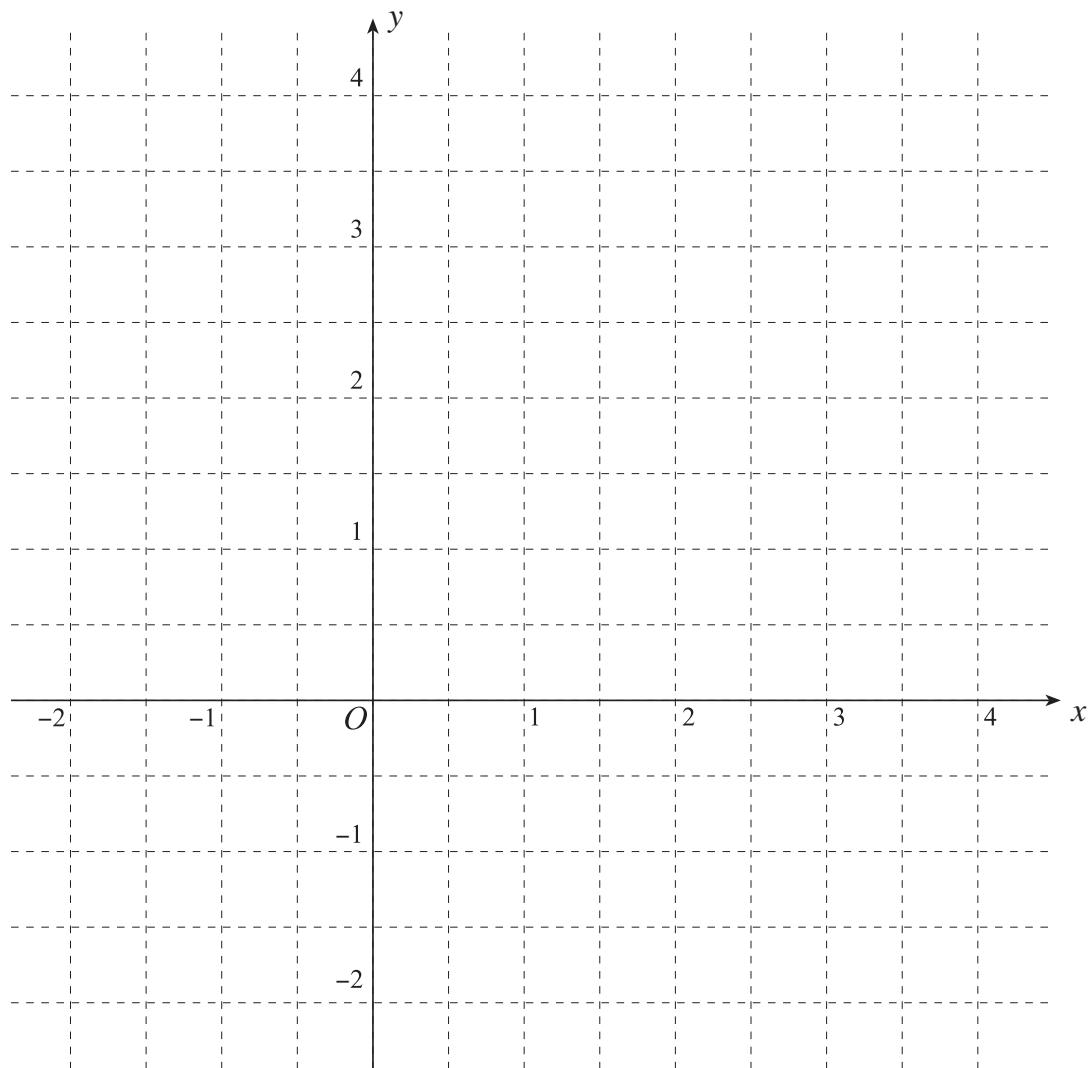
- 3] 次の表は  $a = 2, a = 3$  のときの  $\frac{a^h - 1}{h}$  の値を計算するためのものである。 $\sqrt{\phantom{x}}$  機能のある電卓を用いて、 $2^{\frac{1}{4}} = \sqrt{\sqrt{2}} = \sqrt{1.414\dots}$ ,  $2^{\frac{1}{8}} = \sqrt{\sqrt{\sqrt{2}}}, \dots$  のように計算することにより、表の空欄を埋め、 $\lim_{h \rightarrow 0} \frac{2^h - 1}{h}$ ,  $\lim_{h \rightarrow 0} \frac{3^h - 1}{h}$  を推測せよ。

$h$	$\frac{2^h - 1}{h}$	$\frac{3^h - 1}{h}$
$\frac{1}{2}$	$(1.41421356\dots - 1) \times 2 = 0.82842712\dots$	$(1.73205080\dots - 1) \times 2 = 1.4641016\dots$
$\frac{1}{4}$	$(1.18920711\dots - 1) \times 4 =$	$(1.31607401\dots - 1) \times 4 =$
$\frac{1}{8}$	=	=
$\frac{1}{16}$	=	=
$\frac{1}{32}$	=	=
$\frac{1}{64}$	=	=
$\frac{1}{128}$	=	=
$\frac{1}{256}$	=	=
$\frac{1}{512}$	=	=
:	↓	↓
0		

- 4 関数  $y = e^x$  について、いろいろな  $x$  に対する  $y$  の値は次の表のようになる。

$x$	-2	-1.5	-1	-0.5	0	0.5	1	1.5	2	2.5
$e^x$	0.1353	0.2231	0.3679	0.6065	1.0000	1.6487	2.7183	4.4817	7.3891	12.183

これをを利用して、指數関数  $y = e^x$  のグラフを描き、そのグラフの  $(0, 1)$  における接線を引いてみよ。また、対数関数  $y = \log x$  は  $y = e^x$  の逆関数であることを用い、 $y = \log x$  のグラフを描き、 $(1, 0)$  における接線を引いてみよ。



5  $\lim_{h \rightarrow 0} \frac{e^h - 1}{h} = 1$  を用い、次の各々の関数の導関数を定義を直接用いて求めよ。

a)  $f(x) = e^{ax+b}$

b)  $f(x) = xe^x$

6 指数関数と対数関数は互いに他の逆関数であるから  $e^{\log a} = a$  が成り立つ。したがって  $a^x = (e^{\log a})^x = e^{x \log a}$  である。このことと前問 a) を用いて、指数関数  $a^x$  の導関数  $(a^x)'$  をもとめよ。